

会議名	令和3年度第8回 加古川市石綿関連疾患リスク推定部会	
日 時	令和3年12月3日（金） 14時00分～14時30分 国際交流センター 201会議室	
出席者	部 会 員：村山部会長、名取委員、大田黒委員、亀元委員、鷺見委員、富田委員 建 設 部 中務部長、糺谷次長、溝淵参事 事 務 局：営繕課 萩原課長、高木副課長、横田副課長、乾係長、尾崎係長 森田技師	
会議次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 部会員出席状況報告</p> <p>3. 配布資料確認</p> <p>4. 議 題</p> <p>議題1 中間報告書進捗報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1章「事案の経緯、委員会・部会の開催状況（仮題）」 進捗報告 ・ 2章「リスク推定を進めるためのフローの検討（仮題）」 概ね完成 ・ 3章「アスベストを含む下地調整材の概要（仮題）」 次回（第9回）に第1稿を提出予定 ・ 4章「アスベスト含有量の推定」は概ね完成 その他の項目は今後追記予定 ・ 5章「疑似漏洩実験による屋内漏洩状況の推定（仮題）」 次回（第9回）以降に第1稿を提出予定で、進捗により中間 報告での扱いを検討 ・ 6章「周辺地域の濃度推定に向けた作業経過（仮題）」 概ね完成 <p>5. そ の 他</p> <p>6. 閉 会</p>	備考
配布資料	資料1 1章（第1稿）	

第8回 リスク推定部会 議事録（全文）

1. 開 会

2. 部会員出席状況報告

3. 配布資料確認

事務局 本日の部会を始めさせていただきたいと思います。村山部会長、議事進行につきまして、どうぞよろしくお願ひいたします。

部会長 よろしくお願ひいたします。それでは次第に従って進めさせていただきます。

4. 議題

議題1 中間報告書各章素案について

・1章「事案の経緯、委員会・部会の開催状況（仮題）」

-事務局より説明-

部会長 令和2年12月9日に工事再開とありますが、工事の終了についても記載いただけますか。

事務局 はい、中学校給食配膳室整備工事は令和3年8月30日に完成した旨、2ページ目の下から2行目に記載しておりますが、時系列での表記になるよう整理させていただきます。

亀元委員 ASA（一般社団法人建築物石綿含有建材調査者協会）により、令和3年1月15日～18日にかけて、除去工事飛散防止の監視と建材除去完了検査を行ったことについては記載しないのですか。

事務局 事務局としては、部会員の皆様よりその部分が必要というご意見をいただきましたら、追記させていただきます。

亀元委員 その報告書を部会員の皆さまにご覧いただきながらでないかと判断できないと思います。

名取委員 この資料は現時点のものであり、飛散のところについても確定ではなく検討中となっているわけですね。あくまでバージョン1の内容であり、バージョン2以降で修正する方式がいいと思います。次の時の打ち合わせに、亀元さんから資料を提示のうえ、追記について検討していけばいいと思います。

亀元委員 はい、わかりました。

部会長 亀元委員は報告書をお持ちですか。

亀元委員 はい。

部会長 次の部会にむけて、その報告書を配布したいと思います。

・2章「リスク推定を進めるためのフローの検討（仮題）」

-部会長より説明-

部会長 (2章については) 前回提出分の内容で、概ね完成というふうに考えております。また新しい事実や必要な作業等出てくれば、追加・修正していくことになると思います。

・3章「アスベストを含む下地調整材の概要（仮題）」

-名取委員より説明-

名取委員 (3章については) 前部会で概要を提出済ですが、それぞれ担当していただくところがあったと思います。それぞれが作業中で、まだご提示できるところには至っていない状況です。次回部会の際に、8割ぐらい作成された状態で第1稿が提出できるかと思います。村山部会長の方には、書籍類は全部届いているという理解でよろしいですか。

部会長 全部ではなく、3冊のうち2冊は届いています。「建築用仕上げ塗材ハンドブック」はまだ届いていないです。

名取委員 次回部会で、第1稿を出す予定ということで、部会委員の皆様よろしく願います。

亀元委員 村山先生に送っていただいた、2番目文献の左官工事分は確認できたのですが、もう一つの文献はどれでしょうか。

部会長 (JASS23の)吹付工事分です。

亀元委員 その分は送付いただいていますか。

名取委員 まだです。今のところ、3冊中1冊のみ送付完了です。

部会長 JASS23はスキャナーでデータ化中であり、完了次第送付します。次回部会で、第1稿を出す予定で進めていただけたらと思います。

・4章「アスベスト含有量の測定」

-大田黒委員より説明-

大田黒委員 私と冨田委員の中では内容は完了している認識でおります。前々回部会でご指摘いただいたところの追加分が黄色のハイライト部分になります。この内容を主にチェックいただければと思います。

部会長 黄色のハイライト部分が新しく追加されたわけですね。

大田黒委員 そちらと、下の脚注の二つを追加しております。

・5章「擬似漏洩実験による屋内漏洩状況の推定（仮題）」

-亀元委員より説明-

亀元委員 次回部会までに、形になるように進めていきます。12月中に原稿を作成しようと調整しています。

部会長 次回第9回部会で、第1稿をご提示いただけるということですね。

亀元委員 その前の事前打合せ時も、第1稿（ドラフト）を見ていただく予定です。

部会長 第5章は今のところタイトルが、「～漏洩状況の推定」で、推定まで実施が目標ですが、場合によってはそこまでいかず、今年の5月連休に行っていたいた実験を事実として書いていただくというところまでになると思います。

亀元委員 はい。

部会長 そういう意味ではタイトルも変更したほうがいいかもしれません。

亀元委員 「～推定のための模擬実験」という表現でしょうか。

部会長 そのあたりはまた追ってご相談したいと思います。

・6章「周辺地域の濃度推定に向けた作業経過（仮題）」

-村山部会長より説明-

部会長 6章も前回部会提出分で大体完成と思われませんが、実際の漏洩をした時期については未確定の状況で、あくまで期間を（仮で）設定した上での内容であることは、最初に追記しています。

今日は第1章から第6章までご報告いただきましたが、これに第7章「今後の作業予定」を追加ということになります。これについては、どこまでできるかが決まってないところがありますので、今後作成するということになります。

次回の部会に向けて作業を進めていただければと思います。

5. その他

事務局 第2回石綿飛散事案対策委員会開催の日程調整について、おおよその開催時期をご相談させていただきますでしょうか。

名取委員 今年度内に第2号のニュースレター発行のご希望でしたが、中間報告作成の進捗が全体の約8割ぐらいである現状の進捗をふまえて、第2回委員会を3月中下旬に実施し、ニュースレター発行は4月とすることもやむをえず、これぐら

い余裕をもっているほうが現実的だと思います。

事務局 いただいたご意見等をもとに、第 2 回委員会の日程調整を進めさせていただきます。

(この後、今後のリスク推定部会開催日程を確認して閉会)

第 9 回：令和 4 年 1 月 18 日（火）14:00～

第 10 回：令和 4 年 2 月 15 日（火）14:00～